

地区協議会（東京地区）開催報告書

地区代表理事氏名 眞鍋 一

表記の会議を開催いたしましたのでご報告いたします。



開催日時	令和 7 年 9 月 16 日（火曜日）17：00～17：50		
開催場所	Web 開催		
出欠状況	出席支部名	出席者氏名	欠席支部名
	✓	西山 信之	
	✓	眞鍋一	
		薄井照人	✓
	✓	今村顕	
	✓	佐藤由巳子	
	✓	外山和也	
	✓	永瀬隆之	
		森田仁計	✓
	✓	横田克彦	
	✓	吉崎隆	
	✓	脇千香子	
	✓	青地記世子	
		斎藤勝美	✓
	出席者 10 名		
次回開催予定	令和 7 年 10 月 14 日（火曜日）		

令和7年度第2回東京地区協議会 議事録

I. 令和7年度第2回東京地区協議会の議題

報告事項

1. 本部常任委員会報告
2. 東京大会について
3. 「全国支部長会、魅力ある協会づくり地区・支部一推進フレームワーク」の現状

II. 会議の内容

〔報告事項〕

1. 本部常任委員会報告

各種委員より、次の事項について報告があった。

1) 総務委員会

入会審査、会員休止申請、弔慰金支給、永年勤続表彰、入会申込書等の様式改定といった審議事項は理事会に上程することが承認された。賛助会員の所属支部に関する規定が変更され、支店所在地も所属支部とすることが理事会で承認され、関連する様式改定も上程される。また、「医業経営コンサルタント認定登録証」が条文化されていなかったことに対する関係規定の改定も理事会で承認された。休止者等の条件緩和については、原則「一次試験合格から翌々年度末まで」とする方向で検討が進められており、会員証の電子化も協会全体のシステムに関わる課題として継続審議されることとなった。

2) コンサルプラス推進室

第2回会議（7月31日開催）の活動が報告された。地域に特化したオンライン交流会が企画され、会員間の知り合いを増やすことを目的としている。コラム投稿促進策として、9月から11月にコラムコンペティションを開催し、優秀作品を医療機関向けチラシとして機関誌 JAHMC に同封する予定である。学会でのブース出展や懇親会テーブル確保を通じたコンサルプラスの周知活動も継続する方針である。また、6月6日に実施された新入会員対象オンラインセミナー兼交流会のアンケート結果を確認したことが報告された。

3) 調査研究・提言委員会

調査研究・提言委員会は8月19日に開催された。歯科経営専門分科会は香川大会でブース出展することとアンケート回収支援が要請された。情報活用専門分科会は書籍「医療情報活用人材の育成（仮題）」の令和8年度予算での出版実施を理事会へ上程する。税制専門分科会は厚生労働省と提言をまとめ、認定医療法人制度セミナー共催を計画。在宅医療・介護事業経営専門分科会は介護コンサルティングスキルの確立に向け研修を企画した。医療DX専門分科会は「DX実践ガイドライン」公開を目標とし、業務内容解説のDX支援業務は委員長が執筆。医業経営相談の有償相談は2件成立し、現行対応が適切と判断された。代替サービスについては、半年程度経過の後、改めて審議することとした。

4) 教育研修委員会

収録講義「IT 時代における現場に必要なシステムを判断する知識の習得⑭」が承認された。令和 7 年度本部継続研修では、辞退のあった国内視察研修に代わり、画期的な黒字病院を視察する方針で候補選定と交渉を進めることが決定した。継続研修受講料の見直しは支部要望を受け、業務執行会議で審議されることが了承された。提出された 3 件の継続研修実施申請は承認され、医業経営実務講座の第 14 期スケジュール確定、新入会員研修での交流の場の重要性確認、医業経営管理能力検定の 11 月実施などが報告された。

5) 学会・学術委員会

第 29 回香川大会は「持続可能な地域医療の未来と医療 DX の展望」をテーマにフルスペックで開催され、オンデマンド配信は 11 月 21 日から。第 30 回東京大会のテーマ「いまこそ、激変の時代を乗り越える！」が確定し、令和 8 年 10 月 30 日の 1 日開催で一般演題は Web 配信のみとする。新潟大会の JAHMC 学会賞結果、永瀬理事の講演の好評、全日本病院学会 in 北海道の座長決定も報告された。コンサルタント学会マニュアルの修正案として、Web 配信の裁量や開催都市決定基準などが検討された。

6) 広報委員会

8 月 4 日第 2 回会議は JAHMC 編集会議と同日に行われ、交流の機会を兼ねリアルで開催された。審議事項の「戦略的広報活動」では、会員増強に向けた方策が議論された。具体的な周知・集客方法および入会後の継続メリット案は、次の委員会で計画としてまとめ、具体的なアクションに繋げる準備を進めることとなった。また、東京都支部で実践されている病院コンサルタント育成研究会のメルマガ発行やセミナー活動のノウハウを、全国的にパッケージ化して活用することも模索された。その他、「支部広報連絡会議の開催報告」と、「ジャパンヘルスおよび国際モダンホスピタルショウへの展示会出展」について報告と確認が行われた。

7) 財務委員会

昨年度決算では、収支において一定のマイナスが生じた。今年度は会員減少に伴い会費収入が減少する見込みであり、現状の支出を維持すれば、来年度は収支においてさらなるマイナスとなる可能性が高い。このため、財務担当副会長を中心に、収入増加と支出削減を含む事業の抜本的な見直しが必要であるとされた。また、各支部が保有する繰越金に関し、本部への資金集約と投資による収入増加を令和 9 年度から目指すことが模索されている。支部個別申請予算の利用促進も議論された。

2. 東京大会について

第30回コンサルタント学会東京大会は、令和8年10月30日の1日開催で、テーマは「いまこそ、激変の時代を乗り越える！2040年に向けて。医療・福祉・介護のためにできること」と決定していることが報告された。開催形式は会場での現地開催と収録Web配信を組み合わせたものとし、一般演題はWeb配信とする。この内容に応じたポスターが作成済みである。

- ## 3. 「全国支部長会、魅力ある協会づくり地区・支部一推進フレームワーク」の現状
- 支部長会で指摘された事項に対する取り組みに関し、関係団体、有識者で構成される支部顧問の充実をはかり、他士業団体との連携も検討している。また、東京大会においては病院事例発表シンポジウムを計画中である。人的ネットワーク強化策としては、OB会との連携を目的とした「相談役」制度の導入を検討している。社会的認知度向上については、医科系大学・専門学校への働きかけや、マスメディアへの定期寄稿を強化する方針である。教育機会については、研修内容の質は高いが開催・アーカイブ体制が未整備であるという課題も含め、東京都や関連団体との連携、および首都圏3支部合同での研修企画を推進する。

地区担当副会長からのコメント

東京地区協議会の効率的な運営について高い評価があり、全国のモデルとなることへの期待が表明された。同協議会は決議機関や審議機関ではなく、地区内の情報共有と総合的な調整を行う場であると強調された。今後は、協働の可能性を探索する機能の強化が重要であるとし、支部会員がオンラインで情報共有の場にオブザーバーとして参加できる可能性についても提案があった。また、「魅力ある協会づくり」に関する議論の重要性が改めて述べられ、厚生労働省・総務省が共同で展開する医療人材要請プログラムに協会が関与していることが述べられ、これへの協力が要請された。

以上

議事録署名人	議事録署名人
9月26日	9月26日
	